

第118号

こんにちは

みささ議会です

令和元(2019)年

10月号



主な内容

- 一般会計決算を審査 2～3
- 常任委員会で慎重審査 4～5
- 先進地から学ぶ 6
- 議員7人が一般質問 7～14
- 議案の賛否 15
- 大好きみささ町 16

小鹿神社秋祭
(令和元年10月6日)

一般会計決算審査特別委員会

9月17日に一般会計決算審査特別委員会（石田恭二委員長）を開催しました。この委員会は5名の委員で構成され、総務教育・産業民生常任委員会で審査した一般会計決算の内容を、さらに細かく審査するものです。

平成30年度 一般会計決算を認定

危険家屋対策事業（空き家対策）

- 問** 増える空き家の現状を把握しているか。危険家屋対策事業の対象外の空き家はどのようにしているか。
- 答** 調査中だが350～360戸の空き家があり、平成24年度と比べ80戸ほど増加した。危険家屋は危機管理局が今後調査するとともに、その他の空き家は、空き家バンクへの登録を促進していく。

三朝町農業再生協議会補助金

- 問** 活動や補助事業の内容が伝わっていない。農林関係者の積極活用へのPRに努めるべき。
- 答** 制度概要は全戸配布とホームページに掲載済み。今後は区長、農業委員、農事組合などを通じ、関係者への周知に努めたい。



危険家屋

除雪機械整備費

- 問** 集落への貸与となっているが、条件、運用管理、貸与終了後の扱いはどうか。
- 答** 整備点検、除雪管理等、集落での適切管理を条件に3分の1（約20万円）の地元負担で貸与し、10年経過後は無償譲渡となる。また、運用は集落ごと適切にされていると考えている。

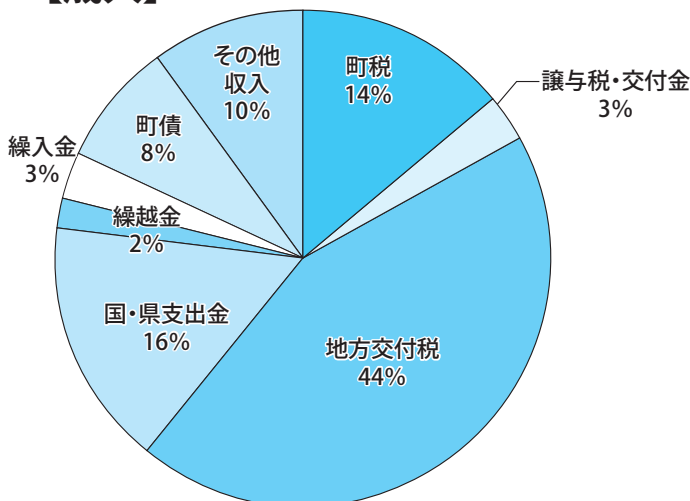
ふるさと応援寄付金特別経費

- 問** 三朝町のPRとなる返礼品の選定方法はどうか。また、地場商品の開発による産業活性化も必要ではないか。
- 答** 町で審査し現在110個の返礼品が選定されている。町内に来ていただく体験型も増やし、活性化につながるように努めたい。



小型除雪機

【歳入】



歳入内訳	(万円)
町 税	67,027
譲与税・交付金	17,636
地方交付税	216,642
国・県支出金	79,395
繰越金	8,789
繰入金	17,157
町 債	38,640
その他収入	48,360
計	493,646

鳥獣被害総合対策事業費補助

問 拡大一途の鳥獣被害に一層の対策が不可欠だが、補助対象の緩和や見直しが必要ではないか。

答 ワイヤメッシュ柵内への電気柵補助は認められないが、範囲拡大やシカ対策として高くする等の機能アップは対象となる。多様なケースにできるだけ対応できるよう相談に応じたい。

多目的駐車場管理

問 予算審査では利用促進を検討するとの回答だったが結果が見えない。温泉街散策のために昼間を無料にするなど考えるべき。

答 温泉客としては夕方以降が多いため昼間はもともと少なく、個人有料駐車場との兼ね合いから有料と判断している。新たに建設される温泉資源活用施設との連携により集客拠点として活用したい。

名勝及び史跡三徳山史跡等買上げ事業

問 平成30年度に文化庁に予算要求し、策定準備するとしていた管理計画策定がなされていない。

答 平成30年度は文化庁への申請準備として埋蔵文化財の基礎的調査や指定状況調査を行った。令和2年度に計画書策定を予定している。



ふるさと納税カタログ

歳出内訳	(万円)
議会費	7,952
総務費	64,957
民生費	130,354
衛生費	18,557
農林水産業費	44,628
商工費	11,037
土木費	30,455
消防費	16,942
教育費	49,834
公債費	49,381
災害復旧費	12,955
諸支出金	45,443
計	482,495

三朝町キラリと光る町づくり支援交付金

問 予算額に対し執行額が極めて少なく生かされていない。十分なPRを行ったのか。

答 周知のマンネリ化や新規のものに続かなかったことが原因と考えるが、今年度「みささる交付金」として取組み易い制度にリニューアルしたので周知に努力する。

移住定住促進事業

問 予算額に対し執行額が少ないが活動状況はどうだったか。本町の重点事項であり、きめ細かな誘致活動を行うべき。

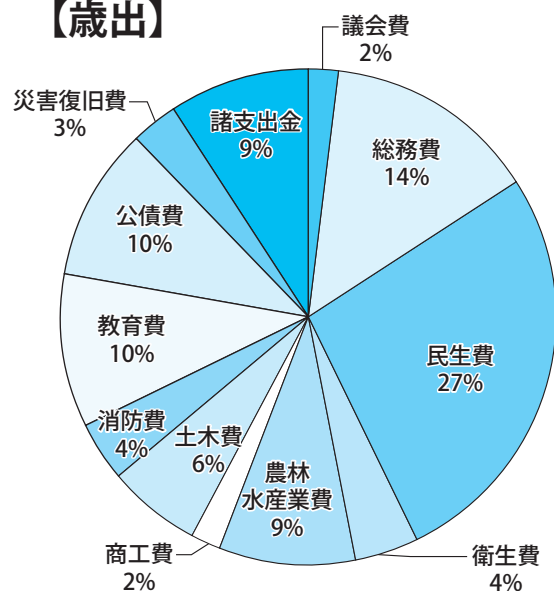
答 今年度から移住対象者を45歳未満に拡大し、子育て世帯には補助金上乘せ等の変更を行った結果、利用が伸びている。促進活動としてホームページや町報掲載の他、東京、大阪での移住相談会でのPRを行っていききたい。

観光振興寄付金について

問 観光振興に使ってほしいとの寄付金が2年続けて活用されなかったのは問題がある。

答 観光振興に活用するため観光振興基金に積み立てているが、来年度以降、観光環境整備に有効活用できるよう関係者と協議したい。

【歳出】



常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

三朝町職員元気な
町づくり自主研修事業
256,240円

問 自主研修事業で長崎県の小値賀町に研修に行っている。小値賀町は小さな島だがなぜここに。

答 長崎県にある小さな島の町であるが、滞在型宿泊体験観光に取り組んでおり、その事例を研修した。

AED 設置事業
2,499,984円

問 43カ所に配置のAEDの使用状況はどのようになっているか。使用方法の講習も頻繁に行うことが必要ではないか。

答 昨年度は1集落で使用例がある。講習会については集落に

呼び掛けており、数集落と施設等で行っている。

退職消防団員報償金掛金
6,796,800円

問 条例定数の354人で掛金を支出しているが、条例定数改正後の330人での掛金支出は何時からか。

答 前年度の10月1日の条例定数に基づいて支出するもので、330人での掛金支出は令和2年度からになる。

飲酒運転検挙者について

問 昨年度も町内の飲酒運転検挙者が2名とのことであるが、検挙者の氏名は公表されないのか。氏名公表が飲酒運転減につながるのではないか。

答 警察署からも検挙者の氏名は公表されないので町としては誰が飲酒運転で検挙されたかわからないのが現状。

障がいの区分と介護認定の区分の違いについて

問 障がいの区分と介護認定の区分の違いは。

答 障がいの区分は医療的区分で介護認定とは異なる。介護認定の区分は日常生活の支援を行うことが目的となっている。

放課後児童対策費
21,438,872円

問 指導員の研修が必要と考えるが、委託費に研修費は含まれているか。

答 委託料の中には研修費を特別に加算していない。研修については県が実施する研修への参加案内をしている。

小学校の電話対応について

問 午前8時前に学校へ電話がつかず、子どもの欠席連絡が出来ないと聞く。日直教職員は7時45分に出勤しているが、電話に出ないと聞いている。教職員の早出番とか町の非常勤職員で対応できないか。

答 学校の基本的な勤務時間は、8時15分から16時45分であるが、日直が7時45分までに出勤し電話対応をすることになっており、学校に徹底するように伝える。



AED 使用方法の講習を



交通安全運動の様子

産業民生常任委員会

国内交流都市観光客誘致
対策事業 208,655円

問 国内交流を行う市町の皆さんが、三朝温泉に来られた時、友好の為の補助金・助成金があってもいいのではないかと。

答 城陽市には三朝町友の会があり、毎年総会に三朝町長が出席される。その際に、三朝温泉に来られた時の割引券を贈っている。他町についても、同じように配布しようと思う。

地域自主活動支援交付金
(6協議会) 12,000,000円

問 交付金200万円を何に使ってもいいということだが、何かを生産して利益をあげる事は問題ないのか。

答 初期の段階で、経費をかけて生産して、販売すればお金が入ってくると思う。初期の段階は、協議会の収入に入れて会計処理をするのがルールと思う。本格的になれば、自立させ独自の会計を持つ事が必要と思う。



地域協議会の事業の様子

竹林整備地域活動支援
補助金 427,856円

問 以前は町内の団体で、竹林整備に補助金を支出していたが、近年ではそのようなことも見受けられない。竹林整備に対して関心が薄れて来ていると思うがどうか。

答 森林組合からも事業実施について、呼びかけを行ってもらっている。自己負担も必要であることから取組みに対して難しい面はあるが、継続して呼びかけを行っていききたい。

農業用施設等維持修繕費
補助金 532,000円

問 土砂撤去の補助は農林関係の多面的機能事業があるが、撤去費用が建設水道課に上がっている。どういう違いがあるのか。多面的機能で集落が維持修繕するのが基本ではないか。

答 多面的機能は当初計画を作成し、それに基づいて実施されているものだが、今回ここで上がっているものについては災害が発生して、通常では実施できないものに対応するもの。

固定資産評価業務費
1,868,400円

問 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）評価業務で固定資産税が減額されるとあるが、警戒区域（イエローゾーン）はどうか。

答 業務委託を30年度に行い、評価替えを行った。レッドゾーンには減額があるが、イエローゾーンに対する減額はない。



竹林整備

先進地から学ぶ

三朝町議会は、7月10日～12日まで、移住定住の取組みや空き校舎の活用など先進地事例を学ぶため、山梨県身延町及び長野県富士見町を訪ね、行政視察研修を行った。

7月10日
山梨県身延町

定住祝い金や体験施設で定住の促進を図る

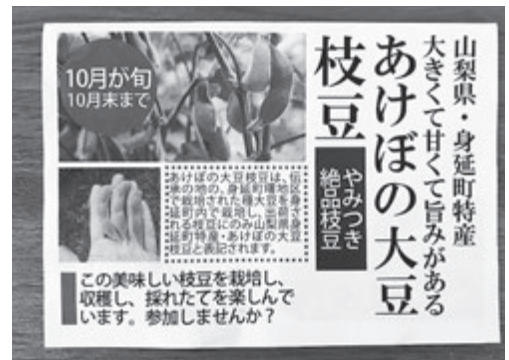
身延町は、人口が1万7千人余りあるものの高齢化率は45.4%と高く、毎年360名近く人口減少している。このため、移住定住には力を入れており、「移住定住祝い金」「結婚祝い金」「就職奨励金」「出産祝い金」などの制度を充実させている。また、田舎暮らし体験施設もあり、町独自の移住定住コーディネーターが細かく対応することにより、3年間で61世帯、42名が移住定住した。

空き校舎を地場作物(大豆)の拠点施設として活用

小学校と中学校を合わせて9つの校舎が空き校舎となり、未利用公共施設活用委員会において活用が検討された。その内、4つの校舎は民間事業者や地域団体への貸出となり、1つの校舎は、特産の地大豆を集積し加工する「あけぼの大豆拠点施設」として改修し活用している。

視察を終えて

本町と同じような中山間地の環境の中、田舎暮らし体験施設やコーディネーターの配置、子育て支援の充実など移住定住に力をいれていた。また、空き校舎を地場産業の活用に結び付けた取組みは大いに参考となった。



特産品を拠点施設で製造

充実した支援制度で新規就農者を呼び込む

7月11日
長野県富士見町

富士見町は、町独自に農業技術を教える「指導者」、生活の拠点「住居」、生産の拠点「農地・機械」を一つのパッケージにした「新規就農パッケージ制度」を実施。9年間で58組の新規就農者を呼びこみ定住・雇用・経済効果を生み出している。

視察を終えて

やる気のある農業者を呼び込み、農業の活性化を図ることで、町の経済活動の向上につなげるという積極的な姿勢であった。人材育成の重要性を認識した。



視察研修の様子

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

一般質問

あなたの声を 町政に

7人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、

臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
8	学童のあり方、学童の今の現状	藤井 克孝
9	まちづくりのための観光への取組みについて	平井 満博
10	1. 空き校舎の利活用に関する一私案 2. 姉妹都市縁組等協定による民間交流の促進を	山口 博
11	本町の活性化と振興策について	松原 成利
12	新小学校の建設について	清水 成真
13	1. 教育環境の整備について 2. 保育施設のあり方について	松原 茂隆
14	1. 荒廃農地をどうするか 2. 指定避難所はこれでいいのか	遠藤勝太郎

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、一般質問の録画放送を行っています。

問 三朝西学童クラブ施設の改修と改善が必要では

答 小学校施設のあり方と併せて検討する

三朝西学童クラブの建物

藤井

三朝西学童クラブは建物も古く、児童78人が現在の狭い場所で長時間過ごせる場所といえるでしょうか。今すぐにでも改修、改善しなければいけないと思う。

教育長

小学校施設の整備に左右されることから、現在進めている小学校施設の基本設計が終了した後、教育委員と協議し、意見をまとめ、基本設計とともに町長に提出したい。

学童の運営

藤井

春休み、夏休み、冬休みの期間、子どもたちが学童で過ごしている様子をどのように把握されているか。本当に三朝町として子どもたちを育てていく学童なのか。

教育長

学童の皆さんとお話ししながら、よりよい運営のあり方について、どうやったらよりよい運営ができるか模索している。



藤井 克孝 議員

学童の場

藤井

子どもたちも育っていく中で、施設の中で学習、ゆっくりできるような場として、親たちが安心して預ける場を提供してあげていただきたい。

教育長

教育委員会で協議し、改善すべきは改善する、今のまま続けるべきところは続けるということで運営してまいります。



三朝南学童クラブ



三朝東学童クラブ



三朝西学童クラブ

観光

問 まちづくりのための観光への取組みは

答 地域の資源を使って観光地として伸びていくことが基本

まちづくりのための観光への取組みは

平井

今までの本町のまちづくりの考え方は、観光のためのまちづくりが主流で行われてきたが、これからの観光のあり方は、まちづくりのための観光とし、貴重な自然を守るために観光を手段とするまちづくりを行い、地域の自然の貴重さを伝えることにより、新しい観光と地域づくりが見出せるのではないか。

町長

観光に関する考え方というのは地域の光を見るというのが原点。その地域、町の中の資源を使って、観光地として伸びていくことは三朝町にとって基本線である。

若杉山を町民の森として整備しては

平井

おきな草保存会と竹田地域協議会によって整備が行われている若

杉山は竹田地区の代表的な山でもあり、本町においても雄大な自然を持つ観光資源であり、本年度より自治体に配られる森林整備の資金を活用し、地域との話し合いによって、町民の森として整備するための資金として活用できないか。

町長

今年度から交付をされる森林環境譲与税については、森林整備に必要な財源ということで確保して、効果的に活用していきたい。

いわゆる観光資源、そして町民の森として若杉山の活用というのは一つの活用方法だというふうに思っている。

竹田地域協議会の中で、オキナグサの植栽、案内看板の設置、土曜楽校での子どもたちの登山。保全活動や子どもたちを育てていく、そんな場として活用されているというふうに思っている。

さらに地域の皆さんと一緒に、活用の可能性を探っていきたい。



平井 満博 議員



三朝温泉観光協会

観光協会のあり方を見直しては

平井

観光協会については、本町の観光の目玉である、温泉と三徳山などのPR活動、町施設の指定管理を主たる業務として運営が行われているが、本来全町の豊かな地域資源を持つ三朝の魅力を発掘し発信することが重要な責務と思うが、観光協会のあり方を見直す考えはないのか。

町長

国際化、情報化の進展、観光ニーズの多様化、そういったことで組織のあり方というものを変えていかなければならないときかもしれない。

業務の見直しを協会がされており、環境もあわせて、まちづくり、もてなしの環境をどうするのかということを考えていかなければならない。観光振興の中心となる組織として、方向性が見出せばというふうに思っている。



若杉山

問 空き校舎を独居高齢者の共同生活の場（シェアハウス等）に

答 一つの提案として専門家に投げかけてみたい

高齢者世帯に必要な施策は

山口

町長が考える今後増加する高齢者世帯に必要な施策は。

町長

地域の中で高齢者を見守り、支えていく活動を支援するなどが重要と考える。



旧南小学校

空き校舎を冬季間の高齢者世帯の共同生活の場（シェアハウス）に

山口

高齢者世帯、特に高齢独居者の冬季間の生活は不安が多いので、空き校舎を共同生活の場（シェアハウス）として高齢者を収容してはどうか。

町長

冬季間の生活に不安を抱える高齢者は多いと思う。共同生活でお互いを見守る互助の考えは有意義であるが、改修・運営等色々検討が必要だ。



山口 博 議員

地域密着型サービス（グループホーム）等施設の充実が必要では

山口

空き校舎を将来は不足する地域密着型サービス（グループホーム）等の施設にしてはどうか。町内の老人施設等の充足等の現状は。

町長

グループホームについては入所待機者は30人前後あるが、立地環境等種々の課題があるので一つの提案として専門家に投げかけてみたい。

町長

交流人口増で、誘客促進につなげて双方が潤うような取り組みが大事だ。

問 縁組を生かして民間交流の促進で誘客を

答 今後は双方が潤う交流に取り組む

現行の交流協定の交流実績どのように評価しているか

山口

ラマルー・レ・バン町とは来年交流30周年の節目を迎えるが、最近では中学生の訪問が唯一の交流である。今後どのような交流ができるか話し合いが必要ではないか。

町長

30年に及ぶ交流の中で、中学生たちは、ホームステイ、町民とのふれあいを通して、国際対応能力が備わってきたと感じている。今後持続性ある交流を続けるため

の話し合いもしている。

交流促進で双方潤う取組みを

山口

今後、市民・町民レベルの交流も大切だ。交流協定をツールとして交流促進や誘客促進につなげては。



ラマルー・レ・バン町との姉妹都市盟約書



ラマルー・レ・バンの風景

政策

問 本町の活性化と振興策は

答 総合戦略で具体化検討

令和新時代プロジェクトの対応は

松原

県の「令和新時代プロジェクト」は5か月経過したが、本町は何らかの取組みを始めたのか。

町長

企画課が統括し、担当課やプロジェクト等も連携して、県と新年度事業協議を行っている。

健康マイレージや子育て支援事業等は他市町に先駆けており、新たに災害時の支え合いマップや認知症予防プログラム等も準備が進んでいる。地方創生総合戦略においても具体化していきたい。

他所にない日本遺産の活用が重要

松原

町長は、三朝温泉は現代湯治指向型、三徳山は自然愛好家向け対応のようだが、他所にない日本遺産を観光資源として、今後どのように活用するのか。

町長

長い歴史の中で培われた文化、自然、食材など、それぞれのパーツを磨き情報発信していくことが重要。また、「みささする実践交付金」や「観光商品造成支援事業補

助金」等により、観光関係者だけでなく町民の企画・立案した事業支援を実施している。

町民が考え、提案する制度導入を

松原

全町民が一丸となって活気ある三朝町を考え、提案する制度が必要ではないか。

(仮称)「提案改善受付ダイヤル」を新設し、毎月の町長スピーチに加えてテーマを示し、提案等を受けてはどうか。

町長

一つの提案であるが無線の中で意図が伝わるか考えてみる必要がある。提案や改善を聞く何らかの場を作ってもよいかと考えている。

世界遺産登録への思いは

松原

平成30年度の世界遺産登録推進調査費の支出は数万円だった。世界遺産登録を目指し観光に生かすべきと思うが、町長の意気込みはどうか。

町長

暫定リスト漏れしたときの宿題調査ができないと進展しないが、一方で日本遺産の認定価値をしっかりと



松原 成利 議員

り生かし、土台とする必要がある。

教育長

広域エリアが一括指定される今日の状況では三徳山全域の普遍価値の証明が必要だが、単体登録に戻るかも知れず、粛々と調査を進めるのが大切ではないか。

随時、観光に生かすべきでは

松原

神倉「湯」の調査で色々と発見されているが、世界遺産登録を目指す一方で観光に生かし、宿泊を伴う説明会等を頻繁に開催してはどうか。

町長

人が集まるかわからないが、観光関係者に投げかけて商品活用できればよいと思う。

テレビ放映はよい取組み

松原

先日、NHKで国際交流員アラン・マリーさん出演の番組が放送され集客が楽しみだが、大変よい取組みであり感想を聞きたい。

町長

マリーさんはテレビ放映の前からInstagramでの発信力が物凄く、その価値がある。インバウンドコーディネーターとして、これまでにない一つのやり方が生まれているかなと思う。



山守運動奉仕（自衛隊の土嚢作り）

問 町県産材の木造校舎を建設する考えはないか

答 非常に興味があり、今後検討を進めていきたい



清水 成眞 議員

新校舎は木造建築に

清水

三朝町の林業を地方創生の原動力と位置づけて、新小学校を三朝町産の材木で建設をしたらどうか。

町長

木に囲まれた環境は子ども達にとって、落ち着く環境だと考えている。現在、新校舎の基本設計の中で木造校舎の建設費や、補助の制度、今後の維持管理費がどうなるのか整理をしていきたい。

「CLT」・「LVL」等を検討してみたい

清水

近年の木造建築では、「CLT(直交集成板)」・「LVL(単板積層材)」を使用した木造建築物が注目されている。考えられないか。

町長

木材を加工する工場として、「CLT(直交集成板)」は南部町に、「LVL(単板積層材)」は日南町に工場がある。三朝町で伐採される間伐材の利用促進も期待できるものと考えている。

今後の検討は？

清水

林業の町である三朝町が、全国に先立って、オール木造の素晴らしい校舎を建てるのが、今後の三朝町の林業の発展に寄与できるものと考えている。

町長

木造建築物は、非常に大事だと思っており、私もできればそれを望んでいるところ。一番のネックは、木造は単価が高いということ。全体で3割から4割程度高くなるということで、CLTについて国の何らかの支援制度があればということをお願いしている。ただ木造というのはとても大事だと考えている。

オール木造建築として建設できないか

清水

オール木造建築として、基本設計の中に入れて考えられないか。

町長

内装を木で使うのか、全体を木造で作ることの両面があり、それぞれ比較する必要があると考えている。



智頭中学校 (木造建築)

CLTとは

厚みのある製材を木目に直交するように重ねた接着剤で張り合わせた積層材。軽くて強度が高く、断熱性に優れ、従来は考えられなかった多層階の木造建築が可能になった。



学
校

問 今後の教育関連施設の整備方針は

答 検討委員会等での検討を積み上げ提案していきたい

学校整備には全体的な検討が必要

松原

教育環境の整備は、小学校施設だけでなく、老朽化した放課後児童対策施設や中学校を含めた全体的な検討や財政見込みが必要。

町長

学校施設検討委員会や教育委員会での検討過程を積み上げ、整備

方針を提案したい。また、財源も整備方針の中で示したい。

松原

新しい小学校が、どの場所を想定して計画がたてられようとしているのか、町民の関心が高いところである。町長の考えは。

町長

これから行っていく基本設計を踏まえてとなる。



松原 茂隆 議員

学校跡地利用への町長の思いは

松原

旧東小学校や南小学校の校舎を含めた跡地について、町長はどのようにしたいと考えているか。

町長

学校跡地施設等利用検討委員会の検討結果を踏まえ、地域の皆さんとの合意形成のもと、総合的に判断し、方針を出したい。

検討会を立ち上げ検討が進められていくことは良い事だが、町長には強いリーダーシップを発揮してほしい。

町長

自分の考えを持って物事にあたるとは当然であるが、関係する多くの皆さんに多面的に考えていただいた意見も大切に検討に加えていきたい。



教育環境の整備は

保
育

問 今後の保育施設の方角性は

答 検討会の答申を受け判断していきたい

保育施設運営に対する町長の思いは

松原

現在、保育施設のあり方が検討されている。様々な考え方はあるうが、園児数が減少している竹田保育園を廃止し、みささこども園を現状のまま運営していく方が自然な考え方ではないか。

町長

年度内には検討会から答申が出される予定。方向性は、これを踏まえ、議会や町民の意見を伺ったうえで判断していきたい。

強いリーダーシップを

松原

学校施設検討委員会や学校跡地施設等利用検討委員会、保育施設のあり方検討会等々、さまざまな



保育施設のあり方を検討

問 荒廃農地をどうするか

答 (町長) 農地保全と遊休農地の解消に努める
(農業委員会会長) 集落内において農地と自然に戻すべき農地の線引きを

荒廃農地の対策は

遠藤

本町農業は高齢化等により荒廃農地が増加。農家からの農地委託が増加し、借り手が決まらない。農地は荒廃化の一途と思われるが対策は。

町長

水田として復元が困難な奥部未整備田はコナラを植えてシイタケの原木として活用を継続。

農業委員会会長

農地を非農地化という部分で協力。

遠藤

農地の地目変更が進められているが、基盤整備田も可能か。

農業委員会会長

原則として農地転用は不許可。

地権者への管理指導は

遠藤

基盤整備田の荒廃田を地権者に管理指導できないか。

農業委員会会長

地権者や集落、地域の協力などが不可欠だと思う。

遠藤

中山間地域等直接支払制度が最終年。新規加入する際、荒廃農地は除外して加入可能。これでは荒廃農地は減らないと思うが。

町長

集落内の農地はみんなで守っていく。

農業委員会会長

草刈の部分なりを地権者の方に賄っていただきたい。



荒廃農地の対策は

グリーンサービスの活用は

遠藤

農業従事者の高齢化等で耕作放棄地とか遊休農地の増加を見込んでグリーンサービスが設立されたと思うが、基盤整備田でも受託されないというが。

町長

基盤整備田はきちっと管理して営農を継続していく約束。

遠藤

毎年500万円の運営補助金が出ている。指導が必要では。

町長

今、体制づくり、方向性を含めて考えていくようにしている。

防 災

問 指定避難所はこれでいいのか

答 必要な改善、整備に取り組む

指定避難所は大丈夫か

遠藤

本町指定避難所は9ヶ所あり、レッドゾーン、イエローゾーン内にある施設が5ヶ所もある。指定避難所と言えるか。

町長

避難所に指定している施設は地域の拠点。老朽化対策もあわせ、改善整備を図る必要がある。

小鹿地区多目的研修会施設と高勢地区公民館の体育館は耐震・補強工事を行う。竹田公民館も調査を実施する。

遠藤

防災物資は配備されているか。

町長

各地区公民館にブルーシート、毛布、非常食を配備している。



遠藤勝太郎 議員

次につなげる農産品が必要では

遠藤

これだけ委託農地が増加してくると、米、神倉大豆だけでは農地維持が困難。次につなげる農産品目の選択が必要では。

町長

新規就農者を何とか呼びこむ方法を考えたい。果樹というものに目を向けていかなければと思う。

講習会・学習会の開催は

遠藤

集落、地区等で、自主防災で安心、安全の為、危険箇所等の認識をさせる、研修会、学習会等を開催し、防災意識の向上を図る考えはないか。

町長

地域の住民の防災意識も高まっており、講習会、学習会を推進していく必要がある。



指定避難所 (高勢公民館)

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		松原成利	松原茂隆	石田恭二	吉田道明	山口博	清水成眞	藤井克孝	遠藤勝太郎	平井満博	山田道治	牧田武文		福田茂樹
町長提出議案名														
	(9月定例会)													
13	工事請負契約の締結について（温泉資源活用施設新築工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	令和元年度三朝町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	令和元年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	令和元年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	令和元年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	令和元年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	平成30年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
20~29	平成30年度三朝町特別会計歳入歳出決算の認定について（10件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
30	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	三朝町印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	三朝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	三朝町簡易水道等給水条例及び三朝町水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議員提出議案名														
議3	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対であることを意味しています。

※福田茂樹議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	趣旨採択	県内の景気動向、県内企業の実情を勘案すると地方では困難な状況にある。
日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情	一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム	趣旨採択	国際機関の勧告であり、国の対応に任せるべきである。
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会	趣旨採択	国家的課題であり、地方議会が判断すべき問題ではない。
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民の安全な生活を守る会	不採択	国防・外交に係る重要案件であり、地方議会が判断すべき問題ではない。
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	鳥取県教職員組合中部支部	採択	義務教育の充実は国民全体の希求するところであり、速やかに予算に反映されるべきである。

より魅力に満ちた温泉街を

三朝町には豊かな自然と温泉街があります。外国人観光客も見られますが、温泉街にもっと観光客の興味を引くような店舗があってもいいのではないかと考えます。

例えば、旅館に宿泊した人は必ず温泉街をぶら歩きするでしょう。その際に三朝町の特産物だけでなく、今、女性に人気のタピオカ店や、何かの体験ができる場所などがあれば、もっと充実して楽しめると思います。

先日新聞に、大学生が夏休みの期間を利用してタピオカ店を開いたところ、爆発的に売れたという記事が載っていました。

三朝町の温泉街にも、一定期間借りられる店舗があれば、新しい発想で店舗を増やすことができ、おもしろいのではないのでしょうか。

また、現代ではSNSの影響が大きくなってきています。そんな中、観光客からSNSを通じてより多くの人に知ってもらえば、三朝町のイメージ改革にもなると考えます。



三朝中学校3年
小 椋 日万莉

議会の委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは**議会事務局（電話43-3511）**にお問い合わせください。

12月定例会の日程予定(案)

会期 12月9日～12月17日
(9日間)

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- ・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- ・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 福田 茂樹
議長 福田 茂樹
編集 松原 成利
議会広報常任委員会
委員長 遠藤勝太郎
委員 松原 成利
副委員長 松原 成利
委員 清水 成真
委員 吉田 道明
委員 松原 茂隆

「春の七草」が長寿や幸福を祈って食されるのに対し、「秋の七草」は夏の暑さを過ぎ、過ごしやすい季節となる秋の風情を鑑賞して楽しむものとして伝えられてきたと言われています。

萩（はぎ）、薄（すすき）、桔梗（ききょう）、撫子（なでしこ）、葛（くず）、藤袴（ふじばかま）、女郎花（おみなえし）。どの花も、決して華やかではないものの、万葉の人々が愛した秋の七草には、素朴な美しさに心が癒されます。

時代の進展と共に、日々目まぐるしく変化する現代。何かと世知辛い時代だからこそ、心静かに花を愛でることができるよう、心のゆとりを持たなければならぬと思う、晩秋の今日この頃です。

（松原茂隆 記）

